

2020 年 SQF Global 議題

表示される時間は日本時間です

最終更新日:2020 年 10 月 2 日

2020 年 10 月 28 日(水)

十分な需要がある場合は日本語(JP)での同時通訳を提供します

午前 6:15 – 午前 6:30

SQF Global へようこそ(SP、JP)

ようこそ世界各地の SQF 代表者が皆さんを SQF Global 2020 に温かくお迎えします。

午前 6:45 – 午前 7:30

グローバルコラボレーションルーム

SQF コミュニティそして世界の食品安全業界に影響を与える課題やチャンスに関して、世界の食品安全コミュニティのゲストと活発な話し合いができます。さまざまなトピックと言語の中から選び、小グループ形式での話し合いができます。

午前 7:45 – 午前 8:45

未来は今:技術とイノベーションが世界の食品安全に与える影響(SP、JP)

進行役:Mark Baum (食品産業協会、FMI、チーフコラボレーションオフィサー兼シニアバイスプレジデント)

パネリスト:

Randy Fields (Park City Group, Inc.、会長兼最高責任者)

Allison Jennings (Amazon、食品安全担当ディレクター)

Roy Kirby (Mondelēz International、グローバル食品安全担当ディレクター)

国際社会は、過去 7 カ月間、驚異的なペースで「ニューノーマル」に適応するよう強いられてきました。変化の速度が速いため、新しい状況に対応するための技術的な進歩も加速しています。これは食品安全にとって何を意味するのでしょうか？ 将来の審査はどのようなものになるのでしょうか？ 人工知能(AI)や機械学習は、食品安全問題の検知やリコールの防止にどのように役立つのでしょうか？ AI、機械学習、その他の技術を可能にするためのツールが世界の食品安全業界に与える現在そして未来の影響に関して、専門家パネリストがそれぞれの観点を発表します。

午前 9:00 – 午前 10:00

コンカレント教育セッション(ライブ Q&A 付き)

1. リモートによる新たな審査(JP)

Gary Smith (FoodChain ID Certification、食品安全担当バイスプレジデント)

Adeniyi Odugbemi (ADM、食品安全担当グローバルディレクター)

GFSI が審査プロセス内での情報通信技術 (ICT) の使用と遠隔活動を承認していることから、多くのサイトや CB がこの新しい方法を用いて審査プロセス内での効率を上げようとしています。遠隔活動がどのように適用されてきたか、またこの新しいプロセスに伴うリスクと利益について学ぶことができます。成功する経験のためにできること、遠隔活動をどのように審査プログラムに組み込むことができるかを聞くことができます。

2. 食品安全文化のビジュアル化 (SP)

Bill McBride (SQFI、アジア太平洋地域代表者)

Betty Murie (Wedderspoon Organic、グローバル順守マネージャー)

食品安全文化は常に SQF 食品安全コードの一部を成してきましたが、第 9 版では食品安全文化プログラムの監督が新しい要求事項となっています。第 9 版で求められる新しい食品安全文化の規範の概要を理解し、安定した食品安全文化の要因となる重要な要素について学び、食品安全面で継続的な成功を収めるための文化変換のプロセスを開始しましょう。

午前 10:15 – 午前 11:30

コードブレイカー: 第 9 版の変更点についての入門ガイド (JP)

LeAnn Chuboff (SQFI、技術担当バイスプレジデント)

世界各地でのサイト認証が 10,000 件を超える SQF プログラムは、その厳格さと信頼性の高さから現在も人気の高い世界的な食品の安全性および品質認証プログラムとなっています。コードの第 9 版の発表についてさらに詳細を学ぶことができます。また、休憩後に SQFI の技術チームに質問する機会もあります。

午前 11:45 – 午後 12:30

コードブレイカー (ライブ Q&A) (JP)

Bill McBride (SQFI、アジア太平洋地域代表者)

SQFI の技術チームメンバーが出席する第 9 版 Q&A セッションにご参加ください。ライブチャットから質問を提出できます。

午後 12:45 – 午後 1:30

コラボレーションルーム

SQF コミュニティそして世界の食品安全業界に影響を与える課題やチャンスに関して、オーストラリアとアジアの食品安全コミュニティのゲストと活発な話し合いができます。さまざまなトピックと言語の中から選び、小グループ形式での話し合いができます。

午後 1:45 – 午後 2:15

未来は思っているより早く来る (JP)

Steven Kotler (「ニューヨーク・タイムズ紙」ベストセラー著者、受賞歴のあるジャーナリスト)

洞察力と楽観主義に富む近未来のロードマップにおいて、ベストセラー作家の Steven Kotler 氏は、次から次へと現れ飛躍的に加速する技術が日常生活と社会の両方にどのような影響を与えるかを浮き彫りにしていきます。AI、ロボット工学、仮想現実、デジタルバイオロジー、センサーが 3D 印刷、ブロックチェーン、グローバルなギガビットネットワークと衝突する中、何が起きていくのでしょうか？ このような収束化は、食品の栽培や調達の方法、そして食生活をどのように変えていくのでしょうか？ またどうすれば、明日の技術的未来に備え、成功することができるのでしょうか？

午後 2:30 – 午後 5:30

SQF Global パートナーエキスポ(専用時間)
(スポンサーによるライブ発表とビジネス会合)

2020年10月29日(木)

午前 6:00 – 午前 6:45

グローバルコラボレーションルーム

SQF コミュニティそして世界の食品安全業界に影響を与える課題やチャンスに関して、世界の食品安全コミュニティのゲストと活発な話し合いができます。さまざまなトピックと言語の中から選び、小グループ形式での話し合いができます。

午前 7:00 – 午前 8:30

グローバルタウンホール(ライブ)(SP、JP)

LeAnn Chuboff (SQFI、技術担当バイスプレジデント)

Bill McBride (SQFI、アジア太平洋地域代表者)

SQFI の LeAnn Chuboff と Bill McBride がホスト役を務める対話式グローバルタウンホール(ライブ)では、世界中の参加者からの質問にゲストが回答します。前もって質問を提出するか、イベント中にライブで質問を行うことができます。

午前 8:45 – 午前 9:45

コンカレント教育セッション(ライブ Q&A 付き)

1. 懸命にではなく、賢明に働こう: 継続的改善を築くためのデータの活用(SP、JP)

Tammie van Buren (SQFI、順守マネージャー)

ヒロヤ スギモト (AEON TOPVALU)

十分な情報を得た上で問題解決と継続的改善のための意思決定を下すことができるようデータを転換する方法を学ぶことができます。データが過去そして現在どのように使用されているかを示す実際的な実証を観察するとともに、SQF データ分析の未来を垣間見ることができます。このセッションでは、上位の不適合例を参加者と共有して、データをより理解するための単純なツールを使用することで食品の安全性および品質システムをどのように改善できるかを説明していきます。

2. 第9版における社内試験に対する新しい要求事項

Palova Marques (SQFI、ラテンアメリカ地域代表者)

John Kern (Mérieux NutriSciences Certification、審査順守マネージャー)

第三者のプロバイダーを利用する場合であれ、サイト内検査室を利用する場合であれ、第9版のサンプル採取および臨床検査に対する新しい要求事項を理解する必要があります。第8.1版では現在、社外分析について ISO 17025 認定相当を必要としています。第9版では社内検査室の ISO 17025 順守を必要としています。方法や技能プログラムに関して新たに期待されることや、食品試験に関する FDA の提案ルールの概要を専門家から聞くことができます。ISO 17025 認定について学び、この認定が貴社サイトにとって適切かどうかをご判断ください。

午前 10:00 – 午前 11:00

コンカレント教育セッション(ライブ Q&A 付き)

1. 貴社のサプライヤーは貴社のリスク

Colin Christmas (EAGLE Certification Group、マネジングディレクター)
Kendra Lunt (Reichel Foods, Inc.、技術サービスディレクター)

食品安全、そして貴社の最終的収益に対するリスクは、サプライチェーンのあらゆる点に存在します。サプライヤーの選定は、単に最も低コストのプロバイダーを特定することにとどまりません。サプライヤーの選定は、十分な情報を得た上でリスクに基づき、コストを減らすことのできる外部調達について意思決定を行い、撤去とリコールの可能性を低め、貴社製品の安全をより一層保証することでもあります。リスクマトリックス、過去のデータ、モニタリングシステムや仕様書といったツールを用いることで、原材料の調達にとどまらないサービスプロバイダー、ロジスティクス、派遣社員その他を含むサプライチェーンのトータルパートナーをどのように特定し、リスクを緩和できるかを学ぶことができます。

2. 信頼はするが検証を怠らない。検証はするが妥当性確認を怠らない(SP、JP)

Paul Holden (Alique、ディレクター)

(1)プランに従った、(2)プランが道理に当たっていた、(3)プランが機能し、現在も機能していることをサイトが容易に実証できれば審査がどれほどスムーズに進むか、想像してみてください。これは検証と妥当性確認を簡潔に述べたものです。過度に複雑にする必要はありません。このセッションでは、工場内でのサポートを例にとり、検証と妥当性確認の概念、その違い、この2点が重要な理由を明らかにしていきます。食品安全システムの実施、効果そして適切さを実証するためのデータ収集について、実践的なアイデアを得てください。

午前 11:15 – 午後 12:00

コラボレーションルーム

SQF コミュニティそして世界の食品安全業界に影響を与える課題やチャンスに関して、オーストラリアとアジアの食品安全コミュニティのゲストと活発な話し合いができます。さまざまなトピックと言語の中から選び、小グループ形式での話し合いができます。

午後 12:15 – 午後 1:15

安全かつ透明性をもって、持続可能な方法で、世界の人々に食料を供給する (JP)

Rob Dongoski (Ernst and Young LLP (EY)、グローバル食品産業とアグリビジネス担当パートナー)

Colleen Webster (Ernst and Young, LLP、食品と農業のリスク改善プラクティスアドバイザー、食品の安全性および品質担当リーダー)

食品システムを変革するにはどうすればいいのでしょうか？ パンデミックにより新たな変化が生まれ、変化のスピードが加速しているのでしょうか？ 消費者のニーズがファーム・トゥ・テーブルからテーブル・トゥ・ファームに移行する中、企業と組織は新たな食品システムにおける自らの役割を見直し、エコシステム内のステークホルダーと消費者にどのような価値を提供できるのか考える必要があります。グローバルの傾向を見ると、ばらばらの対応を止め一貫性のあるシステムに移行しなければならないことがわかります。業界はどう対応すべきでしょうか。食品の安全性および品質にどのような影響があるのでしょうか。

午後 1:30 – 午後 2:30

FDA の新時代のより洗練された食品安全 (JP)

Donald Prater (米国食品医薬品局 (FDA)、Associate Commissioner for Imported Food Safety)

FDA の「新時代のより洗練された食品安全の計画書」に関する最新情報が得られます。このイニシアチブの重要な要素により、組織がどのようにして、デジタル化されトレーサビリティの高い安全な食品システムを構築するための技術やその他のツールを活用できるかを学ぶことができます。世界の食品サプライチェーンの強靭さと安全性を保つよりシンプルかつ効果の高い現代的なアプローチやプロセスについて創造的に協力し合うインスピレーションが得られます。

午後 2:30 – 午後 5:30

SQF Global パートナーエキスポ(専用時間)

(スポンサーによるライブ発表とビジネス会合)

2020年10月30日(金)

午前 6:00 – 午前 6:45

グローバルコラボレーションルーム

SQF コミュニティそして世界の食品安全業界に影響を与える課題やチャンスに関して、世界の食品安全コミュニティのゲストと活発な話し合いができます。さまざまなトピックと言語の中から選び、小グループ形式での話し合いができます。

午前 7:00 – 午前 8:00

パンデミックから見た視点、過去、現在そして未来 - グローバルなパネル討論 (SP、JP)

- *Doug Baker* (食品産業協会、FMI、バイスプレジデント兼業界担当) (進行役)
- *Lynn Buck* (Mother Murphy's Laboratories、食品安全責任者)
- *Dyane Burke* (ConAgra Brands、食品の安全性および品質担当シニアディレクター)
- *Jennifer Crawford* (Coles Supermarkets Australia Pty Ltd.、サプライチェーン順守マネージャー)
- *Jason Liu* (中国 Convenient Store & Chain Restaurant Business、食品安全およびケアオフィス、バイスプレジデント)

COVID-19 パンデミックの余波は世界六大陸 180 カ国にわたり、私たちの日常生活そして無数の業界のあらゆる側面に影響を与えています。「必要不可欠なサービス」と分類される食品業界は、労働力不足から作業者の安全、そしてサプライチェーンの中断まで、サプライチェーンのあらゆる点で課題に直面してきました。食品サプライヤーや小売業者などの世界各地のパネリストが、それぞれが住む地域でこのパンデミックがどのように展開したか、どのような教訓を学んだか、食品の生産、小売そして安全の未来にとって「ニューノーマル」は何を意味するのかを話し合います。

午前 8:15 – 午前 9:15

コンカレント教育セッション(ライブ Q&A 付き)

1. SQF 審査のスコアを上げる秘訣

Kris Middleton (Bureau Veritas Certification North America、北米食品プログラムマネージャー)

さて、非の打ちどころがない SQF 審査の秘訣を知りたいですか？ 同じ間違いを毎年繰り返すのに辟易していませんか？ 検証および是正処置プロセスを正しく使用して根本的な原因を排除し、SQF システムの継続的成功を保証することで審査に合格する方法を学ぶことができます。SQF システム実施の一環としてサイトが行う内容について SQFI が期待すること、そして新たに発表された第 9 版で SQF 審査からの不適合とは是正処置をどのように取り扱っているかを理解することができます。

2. Co-Man(共同管理)チャレンジ: 委託生産または委託プロセス(SP、JP)

Brian Perry (Treehouse、食品の安全性および品質担当シニアバイスプレジデント)

Tracie Sheehan (Mérieux NutriSciences、技術サービス担当バイスプレジデント)

生産またはプロセスを委託していますか？ 古くからの要求事項に対する新解釈を理解することができます。第9版には、貴社事業における契約製造業者を管理するための修正された文言が記載されています。このセッションでは、委託した場合の Co-man (共同管理) 順守のモニタリングに対するリスクアセスメントのアプローチを含め、よくある質問をレビューしていきます。

午前 9:30 – 午前 10:30

コンカレント教育セッション(ライブ Q&A 付き)

1. 一次コード、保管コード、流通コード、および食品包装コードに関する第9版での変更点(SP、JP)

Shanti Anant (ProAmpac、サプライヤー品質ディレクター)

Frank Schreurs (SQFI、カナダ代表者)

食品製造業者コードが第9版の見出しを独占してはいるものの、SQFはその他の食品安全コードにも変更を行いました。その内容としては、農産物、家畜および水産物の一次コード、保管 & 流通コードおよび食品包装材の製造コードが含まれます。作業グループのメンバーがサイトに影響を与える重要な変更点を特定する中で詳細を掘り下げて調べつつ、プロセスの不可欠な一部となることができるかを聞くことができます。

2. 食品安全文化のビジュアル化

Bill McBride (SQFI、アジア太平洋地域代表者)

Betty Murie (Wedderspoon Organic、グローバル順守マネージャー)

食品安全文化は常に SQF 食品安全コードの一部を成してきましたが、第9版では食品安全文化プログラムの監督が新しい要求事項となっています。第9版で求められる新しい食品安全文化の規範の概要を理解し、安定した食品安全文化の要因となる重要な要素について学び、食品安全面で継続的な成功を収めるための文化変換のプロセスを開始しましょう。

午前 10:45 – 午前 11:30

COVID-19 の世界的流行の中での協力例(JP)

Leslie Sarasin (食品産業協会、FMI、社長兼最高経営責任者)

Wai-Chan Chan (消費財フォーラム、マネジングディレクター)

Erica Sheward (消費財フォーラム、国際食品安全イニシアチブ(GFSI)、ディレクター)

COVID-19 は世界各地およびサプライチェーンのあらゆるレベルにおいて、食品および消費財業界のあらゆる側面に影響を与えています。パンデミックにより、食品供給の安全を保ち、サプライチェーンの一貫性を維持し、事業の継続性を保証するために、かつてないほど世界的規模での業界知識の共有と協力が求

められるようになっていきます。食品安全協会の FMI、消費財フォーラム、国際食品安全イニシアチブのリーダーによるタイムリーなディスカッションに参加ください。世界中の食品に関わるコミュニティがどのように協力して現在と将来の食品業界の課題に対応し、持続可能性、サプライチェーンの一貫性、食品の無駄と安全性といった領域で前向きな変革を実施できるのか討議します。

午前 11:45 – 午後 12:30

コラボレーションルーム

SQF コミュニティそして世界の食品安全業界に影響を与える課題やチャンスに関して、オーストラリアとアジアの食品安全コミュニティのゲストと活発な話し合いができます。さまざまなトピックと言語の中から選び、小グループ形式での話し合いができます。

午後 12:45 – 午後 1:30

SQFI の「営業時間」

「営業時間」中の 4 部屋のうち 1 つを訪問すると、世界各地の SQF 代表者と話すことができます。

英語: *Bill McBride* (アジア太平洋地域代表者)

中国標準語: *Sarah Wu* (中国代表者)

日本語: *ナキマ ノリコ* (日本代表者)

SQFI 顧客サービス: *Umma Arsiwala* (顧客サービス管理者) (AU)

午後 1:45 – 午後 2:45

20 世紀の変わり目におけるポイズン・スクワッドと食品安全の改革運動 (JP)

Deborah Blum (ピューリッツァー賞受賞者、『*The Poison Squad*』著者)

19 世紀末、食品は危険なものでした。政府規制、基本的な安全、または表示義務による制限がない中、製造業者は顧客の健康よりも利益を優先させ、故意に有害な製品を販売していました。20 世紀初頭に企業欲や政府腐敗に挑み、画期的な食品医薬品法 (1906 年) 成立の道を開いた Harvey Washington Wiley 博士と勇敢な同僚たちの興味深い話をぜひお聞きください。